

第18号

# すだち

発行：  
高次脳機能障がい  
徳島家族会「すだち」  
住所：  
徳島市新浜町3丁目  
(岩垣方)1-60

## ～南天・九猿→難転・苦去～

高次脳機能障がい徳島家族会「すだち」では、当事者の訓練の一環として始めた「さるぼぼ」作りに多くの会員が挑戦しています。会員らは、そのさるぼぼを南天の木に九頭のさるぼぼを並べて置物を作っています。南天（難を転じる）、九猿（苦しみが去る）。

さるぼぼの造り方は、患者会の福永氏の指導を受けておこなっていますが細かい作業なので皆さん悪戦苦闘の作業ですが楽しく取り組んでいます。材料は、ちりめん布と、風船かずら実、飾り紐、それに台となる南天の木を準備して、ボンドと針でつくります。布を5cmに裁断、4隅を中心に折込み、小さくなったり布を再度4隅を中心に折込み、次に針で寄縫いを行い、いずれかの中心に風船かずらの実を置き、胴体部分に飾り紐を結ぶとさるぼぼは完成です。それを南天の台に固定して完了です。この間要所所でボンドで仮止めをしながら進めています。



さるぼぼとは、飛騨高山など岐阜県飛騨地方で昔から作られる人形。飛騨弁では、赤ちゃんのことを「ぼぼ」と言い、「さるぼぼ」は「猿の赤ん坊」という意味である。災いが去る（猿）、家内円（猿）満になるなど、縁起の良いものとされ、お守りにも使われています。

## お知らせ

### 高次脳機能障がいリハビリ講習会

開催日時 2014年11月8日（土曜日）13時～16時（受付12時30分～）

開催場所 徳島大学大塚講堂小ホール1.2（徳島大学蔵本キャンパス内）

内容 ①「高次脳機能障がいの症候と医学的リハビリテーション」

講師：太田喜久夫教授（国際医療福祉大学病院リハビリテーション科部長）

②ミニフォーラム（高次脳機能障がい者に対する医科歯科連携）

主催 徳島高次脳機能障がいリハビリテーション講習会実行委員会（委員長：永廣信治）

事務局 徳島家族会「すだち」

資金助成 日本損害保険協会

参加費 無料

## 脳の機能回復に向けて

当事者・家族が一緒になって  
難転・苦去（南天・九猿）置物製作

縁起の良いものとされる南天、風船かずらを利用して、ちりめんを用いてのさるぽっぽ作りを脳の機能回復にとって取り組んでいますが、当事者自ら率先している人もいますが、訓練とは云え当事者自身はまったく関心を示さず家族が夢中になっている人もあります。細かな手先作業なので集中力が必要です。

材料のいわれについて、南天は「難を転じる」と云われ古くから「福をなす」として、玄関先に植えられるようになり縁起のいい木とされています。また風船かずらの花言葉は、「永遠にあなたと共に」といわれており、実がハート型に色づいていることからもバレンタイデや、愛する者への贈り物などに使われています。

## 8月交流会

高次脳機能障がい家族会  
障がい者支援講演会

8月定例交流会では山口氏（NPO法人どりーまあサービス理事長）を招いて講演をしていただきました。

講演では、どりーまあサービスが行っている介護事業の実例を引用しながら住民参加型福祉サービスについて、パワーポイントを使って詳しく話されました。



風船かずら



風船かずらの種子



南天の花



南天の種子

## リハビリ講習会の開催

「高次脳機能障がいの症候と医学的リハビリテーション」と題してリハビリ講習会が11月8日（土曜日）午後1時から徳島大学大塚講堂小ホールでひらかれます。高次脳機能障がいにかかる医療講習会は毎年日本損害保険協会の助成をうけ実施しています。今年は、太田喜久夫先生（国際医療福祉大学病院リハビリテーション科部長）の講演と、高次脳機能障がい者に対する医科歯科連携に関するミニフォーラムが開催される予定です。受講料は無料です。（講習会に関する詳細な問い合わせは「すだち」事務局に088-662-4776へ。）



## リハビリテーションとは、(WHO 1981年)

リハビリテーションは、能力低下やその状態を改善し、障がい者の社会的統合を達成するためのあらゆる手段を含んでいる。リハビリテーションは、障がい者が環境に適応するための訓練を行うばかりでなく、障がい者の社会的統合を促す全体として環境や社会に手を加えることも目的とする。そして、障がい者自身・家族・そして彼らの住んでいる地域社会が、リハビリテーションに関するサービスの計画と実行に関わり合わなければならぬ。《社会的統合=社会の一員として、自他共に認め合い、支えあい、社会的責任を果たしながら自分らしく生きること（山館圭子氏）》



三好保健所二階会議室

## 高次脳機能障がい実践的 アプローチ講習会

8月24日東京慈恵会医科大学講堂(東京港区)で東京高次脳機能障がい協議会(TKK)主催の高次脳機能障がい実践的アプローチ講習会が開かれ、全国から医療関係者を中心に250名余りが受講しました。徳島家族会からも1名受講しました。

TKK主催の講習会は、今年5月、8月、12月の3期日で開催され、いずれの期日も4講座が開催されることになっています。今回第2期目では、第一講座は、渡邊修氏(東京慈恵会医科大学付属第三病院・リハビリテーション科医師)による「高次脳機能障がい・医療機関が行う支援、地域につなぐ支援」と題しての講義があり、高次脳機能障がい者とその家族の主な相談内容、対応の仕方、また高次脳機能障がいの原因疾患、リハビリテーションの手順についての講義がありました。

第二講座では、加藤元一郎氏(慶應大学医学部精神神経科医師)による「高次脳機能障がい者の精神症状の問題」と題した講義がありました。

## 平成26年度高次脳機能障がい当事者交流会

三好保健所主催による平成26年度高次脳機能障がい当事者交流会が9月1日三好保健所で開かれました。交流会には当事者、家族、医療、福祉関係者を中心とした16名参加、徳島家族会「すだち」からは、8名が参加しました。はじめに森岡三好保健所健康増進課長の挨拶、高次脳機能障がいの情報交換の場として研修会、講習会などを開催してきたこと行政の取り組みが話され、続いて患者会を代表して岩垣すだち会長から患者会の設立、活動内容が報告されました。途中ホーエツ病院リハビリ担当者の指導で脳と身体訓練リクレーションが行われ優秀者には景品が渡されました。

=====

第三講座では、山館圭子氏(医療法人巖心会栃内第二病院臨床心理士)による「高次脳機能障がいを抱える方と家族のためのグループリハビリテーション」と題した講義があり、



社会的統合を達成するためにネガティブな認知をポジティブな認知に変化させていく「いいところ探し」を当事者と家族が車の両輪となって実践していくこと、としたことが実践報告と合わせて話されました。

第四講座では、岡谷和典氏(国立リハビリセンター職業訓練部第一課長)による「高次脳機能障がい者の就労支援~円滑な就労復帰をめざして」と題した講義があり、個々の状況に応じた補完方法の活用等がはなされました。

次回第3講義期日は12月7日(日曜日)となっています。

**地域社会と連携して制度の充実を**

## 高次脳機能障がいとは

事故などによる脳外傷や脳梗塞、脳出血、くも膜下出血といった脳血管障害・低酸素脳症で脳が損傷し、怒りっぽくなったり、物覚えが悪くなったり、何かにこだわりすぎるなど、今までになかった症状（言語、思考、記憶、行為、学習、注意）が現れることがあります。これを高次脳機能障がいと呼んでいます。脳の障がいが原因で、周囲からの知覚入力に対して、適切な認識や行動表現ができなくなった状態のことです。大きくは、記憶障がい、注意障がい、遂行機能障がい、病識欠落、社会的行動障がいに分けることができます。

記憶障がいとは、物の置き場所を忘れ、新しい出来事を覚えられなくなる。そのために何度も同じ事を繰り返し質問する。

注意障がいとは、ぼんやりしていて、何かを行うとミスばかりする。二つのことを同時に行おうとすると混乱する。

遂行機能障がいとは、自分で計画を立て物事を実行することができない。人に指示をしてもらわないと何もできない。行き当たりばったりの行動をする。

病識欠落とは、自分が障害をもっていることに対する認識がうまくできない。障がいがないかのように振舞ったり、言ったりする。

社会的行動障がいとは、すぐ他人を頼る、子供っぽくなる（依存、退行）無制限に食べたり、お金を使ったり、（欲求コントロール低下）すぐ怒ったり笑ったりする。感情を爆発させる（感情コントロール低下）、相手の立場や気持ちを思いやることができず、良い人間関係が作れない（対人技能拙劣）、一つのことにこだわって他のことができない（固執性）意欲の低下、抑うつななど。

### 発症の主な原因

- (1) 頭部外傷・・・硬膜外血腫、硬膜下血腫、脳挫傷、脳内出血、び慢性軸索損傷
- (2) 脳血管障害・・脳内出血、脳梗塞、クモ膜下出血、もやもや病
- (3) 感染症・・・・脳炎、エイズ脳症
- (4) 自己免疫疾患・全身性エリテマトーデス、神経ベーチェット病
- (5) 中毒疾患・・・アルコール中毒、一酸化炭素中毒、薬物中毒
- (6) その他・・・・多発性硬化症、正常圧水頭症、ビタミン欠乏症、脳腫瘍

### 脳の機能回復訓練

- (1) 医学的訓練・・心理士、言語聴覚士、作業療法士による脳の機能回復の訓練
- (2) 生活訓練・・・日常生活や社会生活能力の向上に向けた訓練
- (3) 職能訓練・・・仕事を支障なく行えるようにする作業訓練
- (4) 社会復帰訓練・職場、学校、施設、自宅などの支援訓練

## 日本脳外傷友の会第14回全国大会 ～地域での回復と自己実現～

第14回の日本脳外傷友の会全国大会が、10月25日島根県民会館で開かれます。大会では、大会諸行事と合わせて、基調講演では「脳機能の回復と自己実現」と題して小林祥泰島根大学学長による講演と、「高次脳機能障害とともにいきる」と題して、高橋幸男エスポアール出雲クリニック院長の講演が予定されていますし、「ともに生きる」として、シンポジュームも計画されています。また、大会前夜24日夜には歓迎交流会が行われることになっています。「すだち」から6名の参加予定です。